

(5) 2021.5 ふじさと

【地域密着型サービス】

認知症対応型共同生活介護（グループホーム）は、平成16年に町内に開設（9床）、平成22年に増設（9床）され、現在18人前後の利用となっており、今後も同程度の利用を見込んでいます。また、利用定員18人以下の通所介護が平成28年度から地域密着型に移行し、1ヶ月当たり12人程度の利用を見込んでいます。平成30年度からは、定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスを開始し、1ヶ月当たり4人程度の利用を見込んでいます。

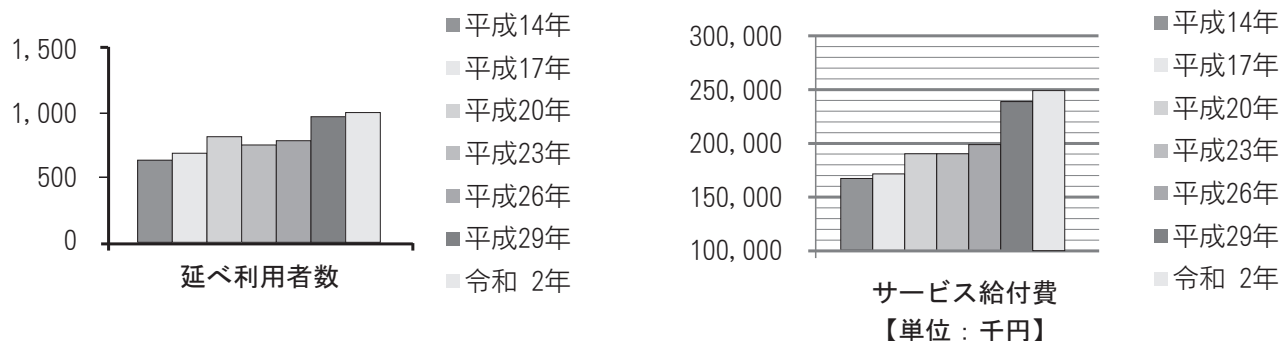
※サービス給付費

平成14年	311万円	平成17年	2,771万円	平成20年	3,059万円
平成23年	5,347万円	平成26年	5,144万円	平成29年	6,685万円
令和2年	6,648万円（見込み）				

【介護保険施設（特養・老健など）】

平成14年以降、利用者は一定の伸び率で推移しています。

年間の延べ利用者数は増加傾向にあります。要介護認定者の重度化などもあり、サービス費用額が伸びていますので、第8期計画中は増加すると見込んでいます。



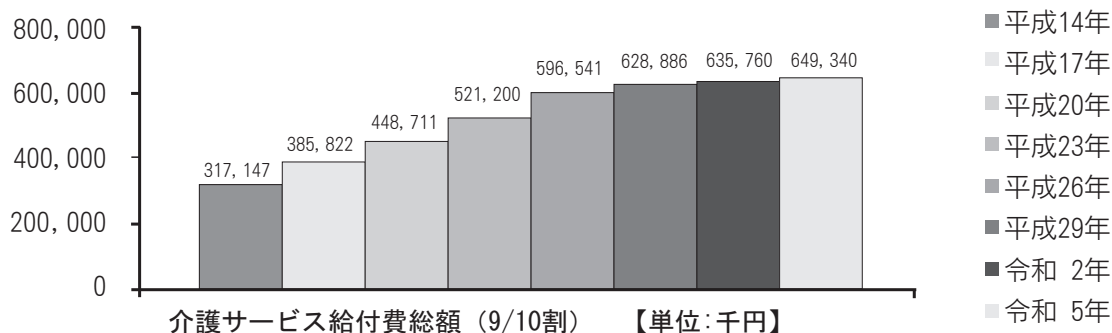
【その他のサービス】

- ・高額介護サービス費：月の自己負担（1割～3割）が一定額を超えた場合、超えた分を支給する制度です。
- ・特定入所者介護サービス費：入所施設（特養や老健、ショートステイなど）の食事代、部屋代について、低所得者層に対して一部を軽減するサービスです。

【介護サービス給付費総額の推移・推計】

介護サービス給付費総額は、要介護認定者数や介護サービス利用者数などにより変動します。

藤里町の場合、高齢化率の上昇とそれに伴う要介護認定者数の増もあって、サービス給付費は毎年増え続け、第8期最終年（令和5年）は、649,340千円になると見込んでいます。



【次回は、介護保険の在り方と令和3年度実施事業についてお知らせします】